



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成25年1月29日

上場会社名 日本ギア工業株式会社 上場取引所 東・大
 コード番号 6356 URL http://www.nippon-gear.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 勝村 哲
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 小倉 達朗 TEL 0466-45-2100
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	7,447	10.4	369	66.5	352	67.1	213	36.1
24年3月期第3四半期	8,310	7.5	1,101	29.5	1,073	26.4	333	11.8

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	15.01	-
24年3月期第3四半期	23.50	-

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	10,117	5,720	56.5	402.85
24年3月期	11,383	5,589	49.1	393.60

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 5,720百万円 24年3月期 5,589百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	-	2.00	-	4.00	6.00
25年3月期	-	2.00	-		
25年3月期(予想)				3.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 平成25年3月期の業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,000	10.3	540	56.4	500	58.8	290	23.8	20.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有

以外の会計方針の変更： 無

会計上の見積りの変更： 有

修正再表示： 無

(注) 「四半期財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第5条の4に該当するものであります。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期3Q	14,280,000株	24年3月期	14,280,000株
25年3月期3Q	79,197株	24年3月期	77,936株
25年3月期3Q	14,201,374株	24年3月期3Q	14,204,325株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1．当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	2
2．サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3．四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(5) セグメント情報等	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要の下支えがあったものの、海外経済の減速等を背景として生産・輸出が弱含みであり、企業収益の悪化を受けて設備投資は頭打ち感がみられるなど、依然として先行きの不透明な状態が続いております。

当社のセグメント別受注概況は、歯車及び歯車装置事業ではバルブ・コントロール、ジャッキ及びその他の増減速機の需要が落ち込み受注は減少、また、歯車につきましても受注は不振で大幅に減少、その結果、歯車及び歯車装置事業では受注は大幅に減少いたしました。工事業業につきましては、火力発電所、原子力発電所向けの落ち込みが大きく、受注は大幅に減少いたしました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の受注高は72億49百万円（前年同期比18.4%減）、当第3四半期会計期間末の受注残高は33億3百万円（前事業年度末比5.6%減）となりました。

売上高・損益面につきましては、東日本大震災後の復旧・復興需要等も一段落し、売上高は74億47百万円（前年同期比10.4%減）、損益面では営業利益が3億69百万円（前年同期比66.5%減）、経常利益は3億52百万円（前年同期比67.1%減）、四半期純利益は2億13百万円（前年同期比36.1%減）となりました。

各セグメントの業績は次のとおりです。

歯車及び歯車装置事業につきましては、バルブ・コントロールの受注高は、輸出、上下水道、石油向けが増加したものの、火力発電所、原子力発電所、船舶、鉄鋼向けが減少したことにより、前年同期比8.0%減少いたしました。売上高は、輸出、上下水道、石油、船舶向けが増加したものの、火力発電所、原子力発電所、鉄鋼向けが減少したため、前年同期比10.2%減少となりました。ジャッキにつきましては、産業用機械、液晶関連、電子関連向けの設備投資に減少傾向が強まり、前年同期比で受注高22.1%、売上高は17.1%それぞれ減少いたしました。その他の増減速機につきましては、受注高は前年同期比17.2%減少し、売上高も6.0%減少いたしました。歯車の受注高は、自動車用は増加したものの、その他産業機械用、建設機械用、鉄道・船舶用が減少したため、前年同期比28.1%の大幅な減少となりました。売上高は、自動車用、鉄道・船舶用が増加したものの、建設機械用、その他産業機械用が減少したため、前年同期比6.6%減少いたしました。以上の結果、歯車及び歯車装置事業では、受注高は前年同期比16.2%減少、売上高も前年同期比9.6%減少いたしました。

工事業業につきましては、受注高は石油向けが増加いたしました。火力発電所、原子力発電所向けの落ち込みが大きく前年同期比22.9%の大幅な減少となりました。売上高も石油向けが増加いたしました。火力発電所、原子力発電所向けが減少したため、前年同期比12.0%の減少となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期会計期間末における財政状態につきましては、流動資産は前事業年度末に比べ12億7百万円減少し71億12百万円となりました。これは主に現金及び預金が7億26百万円、売上債権が4億50百万円、たな卸資産が1億35百万円減少したことによるものであります。

固定資産は前事業年度末に比べ57百万円減少し30億5百万円となりました。これは主に有形固定資産が68百万円減少したことによるものであります。

流動負債は前事業年度末に比べ11億24百万円減少し26億98百万円となりました。これは主に短期借入金が増加しましたが、仕入債務が4億39百万円、賞与引当金が4億23百万円、未払法人税等が2億65百万円、1年内返済予定の長期借入金が1億1百万円減少したことによるものであります。

固定負債は前事業年度末に比べ2億71百万円減少し16億98百万円となりました。これは主に長期借入金が増加しましたが、社債が40百万円減少したことによるものであります。

純資産は前事業年度末に比べ1億30百万円増加し57億20百万円となりました。これは主に利益剰余金が増加したことによるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成24年5月14日の「平成24年3月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（減価償却方法の変更）

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第3四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3 . 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位 : 千円)

	前事業年度 (平成24年 3月31日)	当第 3 四半期会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,990,895	1,264,814
受取手形及び売掛金	3,584,879	3,134,444
商品及び製品	200,270	136,093
仕掛品	789,403	601,519
原材料及び貯蔵品	1,354,205	1,470,957
その他	400,190	504,190
流動資産合計	8,319,845	7,112,019
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,013,291	1,013,291
その他 (純額)	1,275,283	1,206,328
有形固定資産合計	2,288,574	2,219,619
無形固定資産	141,695	145,950
投資その他の資産		
投資有価証券	334,401	342,824
その他	304,091	302,562
貸倒引当金	5,200	5,200
投資その他の資産合計	633,293	640,186
固定資産合計	3,063,563	3,005,756
資産合計	11,383,408	10,117,776
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,932,398	1,492,758
短期借入金	-	164,000
1年内償還予定の社債	80,000	80,000
1年内返済予定の長期借入金	442,500	341,000
未払法人税等	265,943	-
賞与引当金	571,556	147,947
役員賞与引当金	37,843	-
その他	492,782	472,619
流動負債合計	3,823,023	2,698,325
固定負債		
社債	280,000	240,000
長期借入金	525,500	282,000
退職給付引当金	612,110	634,751
役員退職慰労引当金	15,630	14,630
環境対策引当金	23,541	23,541
資産除去債務	207,879	204,354
その他	305,842	299,371
固定負債合計	1,970,503	1,698,649
負債合計	5,793,527	4,396,974

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,388,800	1,388,800
資本剰余金	848,348	848,348
利益剰余金	3,333,832	3,461,793
自己株式	25,139	25,588
株主資本合計	5,545,840	5,673,353
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	44,040	47,448
評価・換算差額等合計	44,040	47,448
純資産合計	5,589,881	5,720,801
負債純資産合計	11,383,408	10,117,776

(2) 四半期損益計算書
(第 3 四半期累計期間)

(単位 : 千円)

	前第 3 四半期累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年12月31日)	当第 3 四半期累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年12月31日)
売上高	8,310,935	7,447,465
売上原価	5,679,611	5,495,322
売上総利益	2,631,323	1,952,142
販売費及び一般管理費	1,529,755	1,582,694
営業利益	1,101,567	369,448
営業外収益		
受取利息	90	110
受取配当金	9,143	9,016
その他	4,240	5,821
営業外収益合計	13,474	14,948
営業外費用		
支払利息	30,791	25,369
手形売却損	97	-
その他	10,477	6,151
営業外費用合計	41,366	31,521
経常利益	1,073,675	352,875
特別利益		
受取補償金	7,340	-
その他	0	-
特別利益合計	7,340	-
特別損失		
固定資産売却損	2,881	1,241
固定資産除却損	506	734
減損損失	250,833	-
投資有価証券評価損	4,430	-
災害による損失	8,392	-
特別損失合計	267,043	1,975
税引前四半期純利益	813,972	350,899
法人税等	480,229	137,728
四半期純利益	333,742	213,171

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

前第3四半期累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	歯車及び歯車装置	工事	
売上高			
(1) 外部顧客への売上高	5,659,903	2,651,032	8,310,935
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-
計	5,659,903	2,651,032	8,310,935
セグメント利益	274,819	826,748	1,101,567

(注) セグメント利益の合計は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

歯車及び歯車装置事業において、業務の効率化により、一部の固定資産が遊休状態となったため減損損失を計上することとなりました。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期累計期間においては250,833千円であります。

当第3四半期累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	歯車及び歯車装置	工事	
売上高			
(1) 外部顧客への売上高	5,115,578	2,331,887	7,447,465
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-
計	5,115,578	2,331,887	7,447,465
セグメント利益 又はセグメント損失()	62,618	432,066	369,448

(注) セグメント利益の合計は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）
該当事項はありません。
3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。